

---

# リリースノート

## AT-TS90TR

---



AT-TS90TRをご購入いただき、誠にありがとうございます。この文書は、「AT-TS90TR オペレーションマニュアル」の内容を補足するものです。

### (1) MII ポート機器使用時のご注意

#### (1-1) MII ポートにトランシーバーなどの機器を接続する際のご注意

PHYアドレス設定については、アドレス[0]がIsolation Mode(絶縁モード)になりますので、下記の点に、十分ご注意ください。

##### (a) AT-TS90TR側の設定

AT-TS90TR内蔵のOmegaソフトウェアで100MポートAをMII側に設定し、AT-TS90TRをリセットしてください。

##### (b) PHYアドレス[0]での接続

原則として、接続する機器のPHYアドレスを[0]にして(0で固定のものはそのまま)接続してください。

この場合、接続する機器はIsolation Mode(絶縁モード)になっていますが、AT-TS90TRのOmegaソフトウェアは自動的にIsolation Modeを解除し、通信可能な状態にします。

なお、上記(a)の100MポートAのMII設定がなされていない場合にはIsolation Modeが解除されませんのでご注意ください。

##### (c) PHYアドレス[0]以外に固定されている接続機器

PHYアドレスが[0]以外に固定されている接続機器をご使用になる場合は次の点にご注意ください。

(c-1) PHYアドレスが[9]でないことを確認してください。

PHYアドレスが[9]の機器はAT-TS90TRではご使用になれません。

(c-2) (a)の手順によりMIIポートを有効にしてください。

MIIポートを有効にせずに機器を接続した場合、双方の機器に電気的な損傷を与える可能性があります。

### (1-2) MII ポートに接続する機器のフルデュプレックス・ハーフデュプレックス設定について

AT-TS90TRは Auto negotiation(自動検出設定) 機能をサポートしておりません。

AT-TS90TRのMIIポートに接続する機器でAuto negotiation機能を無効 ( disable ) にできる場合は、無効にし、通信相手の機器と設定を合わせて接続してください。

AT-TS90TRとMIIポートに接続する機器の間の通信モードが一致していない場合は、パフォーマンスが低下する場合があります。

また、無効にできない機器の場合は、MII機器の通信ケーブルをはずした状態でAT-TS90TRに接続し、AT-TS90TRが電源ONの状態、通信ケーブルを接続してください。これによって、AT-TS90TRとMII機器のモードを一致させることが可能です。

### (2) AT-TS90TR内部ファンについて

AT-TS90TR 本体内には側面および背面に冷却用のファンが取り付けられています。

このうち、側面のものは予備として取り付けられていますので、動作いたしません。背面のファンのみが動作します。

### (3) Ethernet Parametersの設定について

「AT-TS90TR オペレーションマニュアル」のp3-7にEthernet Parametersの設定画面がありますが、Omegaソフトウェアのバージョン1.1.1c以降では、画面が下記のように変わり、Forwarding delayの項目が追加されています。

```
Forwarding Mode:                               Cut-Through
LED Mode:                                         Collision is Indicated on Amber LED
```

```
Please select an option:
```

```
    Store-and-Forward
  >  CUT-Through

  >  Collision is Indicated on Amber LED
    Transmit is Indicated on Amber LED
```

```
Forwarding delay:                               4
```

```
->
```

ここで、F と入力すると下記のような画面が表示され、ポート1～8すべてにたいするForwarding delay の設定が行えます。

The current Forwarding Delay is:

4

Please enter a new value, or Return to retain the existing one.

Specify a value in the range 0-30 seconds

この画面で設定する Forwarding delay の値は、スパニングツリーの設定 (オペレーションマニュアル第8章) のところで設定する Forwarding delay の値とは指定内容が異なります。

ここでの Forwarding delay の値は、スパニングツリー設定がオフの際、リンク確認後のポートのイネーブル になるまでの時間を設定することになります。

上記画面で、値を小さくすることによって、スパニングツリーがオフの時、リンク確認後のイネーブルになるまでの時間を短縮することができます。( 0 に設定すれば、ケーブル接続後すぐにイネーブルとなります。)

なお、スパニングツリーをオンに設定してある場合には、ここでの設定値は意味をもちません。

以上